

卵の殻アートに 羽村で作品展

卵の殻を使ってオブジェや宝石箱などを作る「エッグアート」の作品展が、羽村市生涯学習センターゆとろぎで開かれている。展示されているのは、エッグアートの作品集を出版した昭島市在任の橋本敏美さん(52)の作品だ。17日まで。

エッグアートは、ダチヨウやガチヨウなどの卵の殻に花柄模様を描き、その線上をドリルでくりぬき透かしを入れて作る芸術作品で、会場には、殻にラインストーンなどをちりばめた宝石箱など、約100点が展示されている。



「卵の殻が作品として生まれ変わった姿を見てほしい」と話す橋本さん

橋本さんは1995年、夫の赴任先のシカゴでエッグアートの美しさに魅了され作品作りを始め、2010年に自身の作品集を出版。橋本さんは「写真で見ると『本当に卵の殻』と驚かされる。ぜひ実物で、卵の殻で出来ている様子を見てほしい」と話す。入場無料。問い合わせは、ゆとろぎ(042・570・0707)。